



農場の衛生状態を把握し、慢性疾病による損失を防ぎましょう

慢性疾病対策に使用するワクチンや抗生物質、消毒剤の種類や使用適時は、飼養管理方法や衛生状態により農場毎に異なります。薬剤の使用にあたっては、どのステージで疾病が発生しやすいのか、まずは衛生状態を把握することが重要です。また、慢性疾病対策は地域ぐるみで取り組むことも大切です。

地域ぐるみで行う慢性疾病低減・生産性向上の取り組みを、家畜保健衛生所、地域衛生指導協会、畜産会が連携し、支援します。参加を希望する農場は家畜保健衛生所へお問い合わせください。参加方法や採材等についてご案内します。

支援内容

1. 把握



下表「検査項目」について、畜産会が検査費用を負担（※）します
※令和7年度地域養豚生産性向上対策支援事業（JRA畜産振興事業 中央畜産会）を活用します

2. 検討



特定のコンサルタント獣医師がいない農場へは、養豚専門獣医師から改善案を提案します

3. 実践



ワクチン接種時期、抗生物質の適時適量使用、洗浄・消毒方法等の見直し

4. 評価



養豚専門獣医師を講師とし、農場と地域の取り組みについて、評価・検討する研修会を開催します

検査項目

	PRRS			PCV2			Mhyo	APP	S-inf	
	抗体	遺伝子	遺伝子解析	抗体	遺伝子	遺伝子解析	抗体	抗体	抗体	遺伝子
モニタリング検査	○	○		○	○		○	○		
強化モニタリング検査			○			○			○	○
清浄化推進検査	○	○		○	○		○	○	○	○
着地検査	○	○		○	○		○	○	○	○

Mhyo：マイコプラズマ・ハイオニューモニエ、APP：アクチノバシラス・プルロニューモニエ

S-inf：豚インフルエンザ

- 検査は豚熱抗体検査を実施する血液でも可能です。
- 県全体の生産性向上を図るため、検査結果は家保及び畜産会で共有、農場名を伏せて研修会に活用、中央畜産会へ提供させていただきます。
- 採血に係る事故等による損害の補償はできません。

野生いのしし 検査情報

5月28日に長野市で捕獲された野生いのしし1頭で、豚熱ウイルスの陽性が確認されました。6月4日現在で、4,997頭（捕獲4,767頭、死亡230頭）を検査し、353頭で陽性が確認されています。

家畜保健衛生所	電話番号	家畜保健衛生所	電話番号	家畜保健衛生所	電話番号
佐久	0267-62-4123	飯田	0265-53-0439	長野	026-226-0923
伊那	0265-72-2782	松本	0263-47-3223	園芸畜産課	026-235-7232